○モーバー錠，▼オークル錠　［内］

【重要度】★★　【一般製剤名】アクタリット　Actarit　【分類】抗リウマチ剤（DMARD）
【単位】○100mg/錠
【常用量】300mg/日
【用法】１日３回
【透析患者への投与方法】代謝を受けずほぼ100%尿中へ未変化体として排泄されるため減量して慎重に投与（5）
【その他の報告】腎障害患者では腎障害が悪化するおそれがあるため慎重投与（1）
HD 前日の寝る前に 100mg で蓄積性なし（秋山雄次: 日臨免疫会誌 34: 485-491, 2011）
【保存期 CKD 患者への投与方法】代謝を受けずほぼ100%尿中へ未変化体として排泄されるため減量して慎重に投与（5）
【特徴】血管新生の抑制，細胞接着の抑制および炎症性サイトカイン・蛋白分解酵素の産生抑制作用により抗リウマチ作用を示す．免疫系の調節を通じてアジュバント関節炎を抑制する［animal model］（Fujisawa H, et al: Arzneimittelforschung 1990 PMID: 2168705）
【主な副作用・毒性】ネフローゼ症候群，間質性肺炎，再生不良性貧血，汎血球減少，無顆粒球症，血小板減少，消化性潰瘍，出血性大腸炎，腎機能異常，肝機能異常，腹痛，嘔気・嘔吐，口内炎，下痢，味覚異常，過敏症，めまい，脱毛，視力障害など
【吸収】透析患者では吸収が遅延する（浜田勝生: Progress in Medicine 15: 1687-91,1995）
【F】72～100%［animal］（Sugihara K, et al: Arzneim Forsch 1990 PMID: 2222556）消化管からほぼ100%吸収（1）
【tmax】1.5～2hr（1）
【代謝】代謝は受けない（1,塩川優一，他：臨床医薬 7:19-35,1991）肝代謝酵素を誘導しない［ラット］（Sugihara K, et al: Arzneim Forsch 1990 PMID: 2222557）
【排泄】尿中未変化体排泄率ほぼ100%（1,塩川優一，他：臨床医薬 7:19-35,1991）尿中回収率ほぼ100%［ラット］（Sugihara K, et al: Arzneim Forsch 1990 PMID: 2222557）
【CL/F】372±58mL/min（1）
【t1/2】0.86±0.15hr（1）
【蛋白結合率】17～20%（Sugihara K, et al: Arzneim Forsch 1990 PMID: 2222556）
【Vd/F】30.1L/body（1）胎児，乳汁への移行はごくわずか［ラット］（Sugihara K, et al: Arzneim Forsch Drug Res 1990 PMID: 2222557）
【MW】193.20
【透析 CL】透析クリアランスは約 110mL/min で透析膜通過性良好（浜田勝生: Progress in Medicine 15: 1687-91,1995）
【TDM のポイント】TDM の対象にならない【O/W 係数】油相には分配しない［1-オクタノール/水系，pH8］（1）【pKa】3.94（1）
【主な臨床報告】主な標的酵素は炭酸脱水酵素-II である可能性（Ghislat G, et al: Biomolecules 2020 PMID: 33227945）
【更新日】20240924

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。
※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。